釧路		 専門学校	開講年度 令和06年度 (2	2024年度)	授業科目	英語コミュニケーション		
科目基础	逆情報 遊情報							
科目番号		0094		科目区分	一般 / 』	· · ·		
授業形態		講義		単位の種別と単位	立数 履修単位	履修単位: 1		
開設学科		情報工学	分野 分野	対象学年	5			
開設期		後期		週時間数	2			
教科書/教	材	lEnalish	ok: Side by Side Extra Edition Studer Usage: Michael Swan (Oxford Unive idge University Press)	nt Book and eTex ersity Press)Engli	ct レベル3 (Pe sh Vocabulary	arson) References: Practical in Use:McCarthy+ O'Dell		
担当教員								
到達目標	票							
in real-lif	fe situation		nglish language learned to date, givi	ng students the	ability and con	fidence to communicate in English		
ルーブ!	<u> </u>			1				
			理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レイ		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目:	1		To be able to establish natural communication in English.	To be able to est communication given some hin	in English if	To be unable to maintain communication in English if on. given some hints or suggestion.		
	到達目標I 育到達度目	頁目との関 漂 F	月係					
教育方法	 去等							
概要		To have	note an awareness, understanding a e the students realize the importance	e of communicati	ion skills and s	trategies in language learning.		
					Try to use English as much as possible in clas			
授業の進	め方・方法	comr	ng criteria is 60% of the oral test (in efore each test.) And final grade is munication skills component 30%. ear English is relevant to this class	terview).(A deta decided by the o On retesting, the	iled description ral test 70% a e passing criter	n and distribution of scores will be nd the classroom participation and ria is 60%.		
注意点			this chance to speak and experimen	t with English in	a friendly and	relaxed atmosphere.		
授業の原	属性・履何	多上の区分						
	ティブラーニ		☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業		
授業計画	画							
		週	授業内容		週ごとの到達目	標		
		1週	Tense (1)	t Cambinusus	Asking simple	gular activities. questions. things you like to do.		
		2週	Simple Past Tense + Past Con (1)	tinuous Tense tinuous Tense	Reporting pas Describing a t	t activities. rip or telling a story.		
		3週	Much and many / some and any Much and many / some and any	(1) (2)	Talking about Making offers	food. and requests.		
後期	3rdQ	4週	Future. Going to, will + V hope to (1)	Vant to /	_	ure plans and intentions. tainty.		
		5週	Comparatives / superlatives (1) Comparatives / superlatives (2))	Comparing Th Giving your op Talking about Making sugge	pinion. your hometown.		
		6週	Comparatives / superlatives (3))	Giving your op Talking about Making sugge	your hometown.		
		7週	+ Ever and never. (1)	and since.	Questions tag	s with "isn't it ?", "don't you?" etc		
		8週	後期中間試験を実施する					
		9週	Have to / should / must Have to / should / must	(1) (2)	Medical symp What things a Clothes and a	re made of.		
	4thQ	10週	(1)	g sentences		feelings, and exclamations.		
	laiq	11週	Passives (1) Passives (2)		Saying numbe	ers and amounts.		
		12週	(1)	and for	Discussing du	rations		

		Present Perfe Present Perfe						ews and bad news.		
		14)	週	Prese	nt Perfect C	ontinuous (3)	Review of all tenses. Responding to good news	Review of all tenses. Responding to good news and bad news.		
		15)	週	Using	g conditional	ls with "if". (1) s with "if". (2)	What will you do? What would you do?			
		16)	周		末試験を実施		What Would you do.			
	アカリ	<u>キュ</u>			内容と到達			T	T	
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週 後1,後2,後	
		文学・社会			英語運用の 基礎となる 知識	聞き手に伝わるよう、句・文には ーション、音のつながりに配慮し	らける基本的なリズムやイントネ して、音読あるいは発話できる。	3	3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16	
						明瞭で聞き手に伝わるような発記 クセントの規則を習得して適切に	話ができるよう、英語の発音・ア E運用できる。	3	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16	
						中学で既習の語彙の定着を図り、 新出語彙、及び専門教育に必要と 切な運用ができる。	高等学校学習指導要領に準じた 公る英語専門用語を習得して適	3		
						中学で既習の文法や文構造に加えた文法や文構造を習得して適切に	え、高等学校学習指導要領に準じ 三運用できる。	3		
基礎的能力					英語連基のの場合を表現である。	日常生活や身近な話題に関して、りとした発音で話された内容からきる。	毎分100語程度の速度ではっき	3	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16	
						日常生活や身近な話題に関して、現を用いて英語で話すことができ	自分の意見や感想を基本的な表 きる。	3	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,6 9,後10,後 11,後12,後 11,後14,後 13,後14,後	
	科学		英語			説明や物語などの文章を毎分100 ように音読ができる。)語程度の速度で聞き手に伝わる	3	後1,後2,後 3,後4,後 5,後後後,後 7,後810,後 11,後12,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16	
							y、その概要を把握し必要な情報	3	13/1213	
						日常生活や身近な話題に関して、		3		
						100語程度のまとまりのある文章 母国以外の言語や文化を理解しる 面で積極的にコミュニケーション	ようとする姿勢をもち、実際の場	3	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16	
						実際の場面や目的に応じて、基本 (ジェスチャー、アイコンタクト		3	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後	
					英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識の する報告や対話などを毎分120記 握し、情報を聞き取ることができ	B程度の速度で聞いて、概要を把		15,後16	
						英語でのディスカッション(必要、教室内でのやり取りや教室外で きる。	での日常的な質問や応答などがで 	3		
						英語でディスカッション(必要に、学生自ら準備活動や情報収集を行	応じてディベート)を行うため、 テい、主体的な態度で行動できる	3		

				母国以外の言語や文 で英語で円滑なコミ	文化を理解しようと ミュニケーションを	ごする姿勢をもち、 ことることができる	教室内外	3	
				関心のあるトピック イティングなど論理	フについて、200語 里的文章の構成に留	程度の文章をパラ 1意して書くことが	グラフラ できる。	3	
				関心のあるトピック 平易な英語での口頭 のやりとりができる	頭発表や、内容に関			3	
				関心のあるトピック などの概要を把握し	7や自分の専門分野 レ、必要な情報を読	Fに関する論文やマ 表み取ることができ	ニュアルる。	3	
				英文資料を、自分の や口頭発表用の資料 ライティングにおい きる。	D専門分野に関する 科等の作成にもつな ける基礎的な語彙や	る論文の英文アブス はがるよう、英文テ ○表現を使って書く	トラクト クニカル ことがで	3	
	実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。						3		
評価割合									
	試験		発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合詞	†
総合評価割合	70		0	0	30	0	0	100)
基礎的能力	70		0	0	30	0	0	100)
専門的能力	0		0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0		0	0	0	0	0	0	